

サンシルバー市川だより

例年なら夏の暑さが残りつつも、ちらほらと秋が見え隠れする頃ですが、今年に残暑がまだまだ厳しく、秋めくのはもう少し先のことになりそうです。ただ、1階のエレベーターホールでは鈴虫がきれいな声で鳴いて、小さな秋を感じさせてくれます。

9月は季節の変わり目、体調を崩しやすい季節でもあります。ご利用者様は一旦体調を崩すと、元の状態に回復するまでに時間がかかります。「なにかいつもと違う」と感じた時は、すぐに看護師に報告してください。

また、私たちもなんとなく体がだるかったり、疲労がとれなかつたりなどの秋バテの症状に注意が必要です。冷房や冷たい飲食物による冷えも原因の一つですので、温かい物を積極的に食べたり、お風呂にゆっくり入るなどして冷えから体を守り、残暑厳しい9月を元気に乗り切ってください。

●車いすは、いつも清潔に。



ご利用者様がベッドに横になられた時は、車いす上のクッションをとって食べこぼしやゴミを取り除き、きれいな状態で使用していただきます。クッションの汚れ防止にラバーシートをかけてある方は、臥床時、入浴時、トイレ時など車いすを離れた時にしわを伸ばし、褥瘡予防をしていきます。

ご利用者様を思う一人ひとりの行動が、ご利用者様の心地良い毎日を支えています。

日本介護福祉士会ニュース **Rashiku** VOL.173

特集 わたしを支える魔法の言葉

「自分にない価値観をもつ人の意見を聞いて取り入れてみて。そしたらもっとやりやすくなるし成長できるよ。」

介護福祉士19年目 特別養護老人ホーム勤務 介護リーダー
リーダー3年目の頃、私は自分の理想を押し付ける、面倒で近寄りがたい「困ったリーダー」でした。そんな時に、尊敬する上司の方からこのアドバイスをいただきました。自分の姿を客観的に見れず、独りよがりだったことに気づきハッとしたのを覚えています。お陰で、今では周りからたくさんのアイデア、相談をもらい、いい関係を築けています。
あのままだったらと考えると…(汗) 自分の考え方を豊かにしてくださった上司の方に、本当に感謝しています。



●各階、異動と新人の入職

共に学び成長していきます

「新しい環境に入ったら大変なことも多い。でも、そこを踏ん張るときっと楽しくなる。」

嵐の桜井翔さんの名言です。

●特養でパン誤嚥死亡事故

施設に2490万円の賠償命令

2021年11月に名古屋の特養で、パーキンソン病の当時88歳だった男性が朝食のロールパンを喉に詰まらせ、その後病院で亡くなりました。男性は亡くなる1か月前にもロールパンを喉に詰まらせていました。裁判で施設側は「男性は自分で食べることできたので、常に見守る義務はなかった」と主張。しかし、名古屋地方裁判所は、

「男性が亡くなる1か月前にもロールパンを詰まらせたことがあったこと。*介護記録には、1か月前の事実が記載されていなかったこと。」



などを挙げ、これまでと同じ状態で食事を提供すれば、より重篤な結果が生じる危険性を認識できたとなりました。そのうえで、介護記録の記載などから、施設内で十分な情報共有や原因分析がされていなかったことが伺えると先月8月7日、安全配慮義務違反を認定し、2490万円の支払いを命じました。

「ご利用者様のADLの把握、食事中的見守り、食事形態、介護記録、情報共有、これらの重要性を一人ひとりが再認識し、しっかりと誤嚥予防を行ってください。」

事故防止
「離れます」「〇〇行きます」「声かけて守ろう安全 伝えて所在 持ち場を離れる時のルールです」

編集後記

9月29日は十五夜、中秋の名月です。

涼しい夜の風に吹かれながら、一年で一番きれいな月をゆったりとした気持ちで眺めてみませんか。介護部長